

1年 測量「平板測量」

朝晩は涼しくなり、過ごしやすい季節になってきました。

1年生の「測量」の授業では平板測量の実習が大詰めを迎えています。

平板測量とは三脚を取り付けた平板上に図紙を張り付け、アリダードという観測方向線の向きを求める視準線のついた定規で各目標への方向線を現地で引き、目標点の位置を求めていく測量法で、主として平面図形や地形図を現地で図解的に描くのに用いられます。

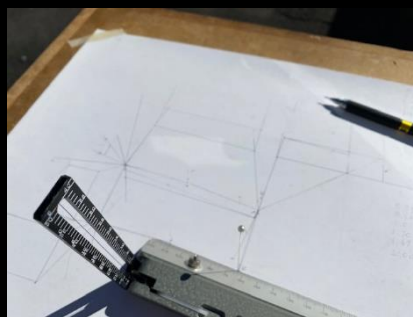


基礎的な測量方法ですが、何事も基礎が大切！

先日インターンシップでも2年生の生徒が、現場の方から

「高校で勉強する基礎を大切にしてください。基礎があるから応用できる、応用できるから新しい技術にも対応できる。」と説明を受けていました。

地道な作業ですが、一つ一つの積み重ねが無いと技術は身に付けることができせません。しっかりと知識と技術を身に付ければ、着実に成長できます。



実際に測量した図面は、平面図を作成し終了となります。

1年生は基礎を身に付ける期間！
色々な実習を通して、しっかりと自分のモノにしていきましょう！

測量の他にも先日「農業と環境」ではサツマイモの収穫を行いました。



これから追熟させます。みんなもじっくり力を蓄えよう！